

平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

「気仙地域のコミュニティ再生支援事業「万歩計」プロジェクト」

取組事業名

学校名

「気仙地域のコミュニティ再生支援事業」

国立大学法人岩手大学

※該当する内容に○

活動内容	学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
	放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	学童クラブとの連携	その他
	学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
	家庭教育支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
	地域課題に応じた額習	高齢者支援	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
			○			

取組概要

◆目的・コンセプト：

1. 高田の市民の方々に震災から今までを振り返り、「これまで一歩、一歩前に進んできた。そして、これから少しずつでも前に進んでいこう」と思ってもらい、明るくもしくは、前向きな気持ちを持ってもらう。
2. 市外の方々に見に来てほしいと思ってもらえるような空間を作り、交流人口を増やす。
3. 市外からの訪問者にとって、震災後の歩みを知ってもらい、高田への関心を高めてもらう。

◆プロジェクト概要：

震災からの日々を「歩み」にたとえ、震災後の出来事に関する写真やイラストを組み合わせたディスプレイを作成し、「万歩計」と名付ける。万歩計は以下の3つの要素から構成されるものとする。

I 「万歩計ウォール」

陸前高田を特徴づける風景や風物を大判ロールの台紙に印刷したものを背景画として壁面に貼る。その台紙の上に、震災後の節目の出来事や多くの市民が嬉しく感じた出来事の写真やイラストを時間軸に沿って並べていく。各写真には、その出来事が起きた日付とコメントなどを添える。写真の枚数は数十～100枚程度とする。

II 「万歩計ポスト」

- ・「万歩計ポスト」を仮設・本設の木村屋、いわい、やぶやに設置させていただく。
- ・万歩計ポストに訪問者に思い出の写真やイラストを投函してもらう。写真には日時と一言を添えてもらう。
- ・一定の数の写真が集まったところで E_code がそれらを「万歩計ウォール」に追加していく。

III 「万歩計ポストカードアルバム」

- ・栃ヶ沢ベースや本設の木村屋訪問者に、メッセージ、思い出や記憶に残ったことなどを、日付とともにたかたびポストカードに書いてもらう。
- ・ポストカードを「万歩計ポスト」に投函してもらう。
- ・集めたカードはアルバムに収めて、旧店舗に置く。
- ・旧店舗を訪れた人がアルバムを見ることができるようにする。

仮設商店街「栃ヶ沢ベース」の市民に震災後の出来事に関する写真やイラストを展示してもらおうと共に、それを目にした来客者にコメントをもらい、それも展示を行う。このような流れにより、市民、市外からの訪問者のコミュニティの交流に取り組んでいく。

平成 27 年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

事業成果

プロジェクトの内容の決定後、高田市民の個人や団体・組織に震災後のあゆみを示す画像の数々を提供していただけるよう働きかけるとともに、万歩計ウォールの台紙の制作を行うなどの設置準備を行った。

ペーカリーオープン後の 2015 年 9 月 3 日に設置作業を行い、まずはスタートアップ段階としての「万歩計」が公開された。

このプロジェクトは、訪問者の方々に画像やメッセージをいただきながら、壁面が徐々に豊かなものに変化していくことを狙うものである。

最初の設置後、まずは自分たちで画像を付け加えていくなど、すこしずつでも変化が感じられるような工夫をおこないつつ、一般訪問者からのメッセージも増えるような工夫をさまざま試している。



課題と今後の取組

○震災から 5 年が経過し、市外からのボランティア数が減少しているため、交流人口としての観光者を増やすことが求められる。この交流人口を増加させる方策の一つとして、28 年度以降も本事業の更なる取組が求められている。